

## 出エジ 35 出エジプト記 24 章 1 節～18 節

### 「シナイ契約の締結」

#### 1. 文脈の確認

- (1) 出エジプトを経験した民は、神の期待を負った民である (出 19 章)。
  - ①わたしの宝、②祭司の王国、③聖なる国民
- (2) その使命を果たすために必要なのがモーセの律法である (出 20 章～23 章)
  - ①基本条項 (出 20 章の十戒)
  - ②基本条項に付加された諸条項 (出 21 章～23 章)
- (3) 今回の内容
  - ①イスラエルの民は神との契約関係に入ることを了解するかどうか。
  - ②シナイ契約が締結される。

#### 2. きょうのアウトライン

- (1) イスラエルの民の同意 (24 : 1～3)
- (2) 契約の血 (24 : 4～8)
- (3) 契約の食事 (24 : 9～11)
- (4) シャカイナグローリー (24 : 12～18)

#### 3. メッセージのゴール

- (1) 契約の食事と新しい契約
- (2) 契約の血と十字架
- (3) シャカイナグローリーとメシアの受肉

このメッセージは、シナイ契約に隠されたメシアを発見するためのものである。

### I. イスラエルの民の同意 (1 節～3 節)

#### 1. 山に上れとの命令 (1～2)

「主は、モーセに仰せられた。『あなたとアロン、ナダブとアビフ、それにイスラエルの長老七十人は、【主】のところに上り、遠く離れて伏し拝め。モーセひとり【主】のもとに近づけ。

他の者は近づいてはならない。民もモーセといっしょに上ってはならない』

(1) 主語は誰か。

- ①「主は、モーセに仰せられた」(新改訳)
- ②「主はモーセに言われた」(新共同訳)、「また、モーセに言われた」(口語訳)
- ③ヘブル語では、「さて、彼はモーセに言われた」
- ④三位一体の神の暗示か。

(2) 上る人々

- ①モーセ
- ②アロンとその息子たち(ナダブとアビフ)
- ③イスラエルの長老70人(しゅうとイテロの助言で長老制度ができた)

(3) 彼らの立ち位置

- ①【主】のもとに立つのはモーセだけ。モーセは仲介者である。
- ②中腹に立つのは、アロン、ナダブ、アビフ、イスラエルの長老70人。
- ③麓では、民が待機している。

## 2. モーセによる解説(3a)

「そこでモーセは来て、【主】のことばと、定めをことごとく民に告げた」

(1) 山に上る前に、民の意志を確認しておく必要がある。

- ①「【主】のことば」とは、出エジプト20章の内容である。  
\*私たちはそれを4回にわけて学んだ(27回~30回)。
- ②「定め」とは、出エジプト21章~23章の内容である。  
\*私たちはそれを4回にわけて学んだ(31回~34回)。
- ③そのために8時間以上かけたが、モーセも相当な時間を使ったはずである。  
\*契約締結の儀式は、翌朝行われている(4節)

## 3. 民の同意(3b)

「すると、民はみな声を一つにして答えて言った。『【主】の仰せられたことは、みな行います』」

(1) モーセが告げることは、すべて【主】のことばとして認識された。

- ①出20:19で、彼らはモーセが仲介役を務めるように懇願した。

(2) 彼らの応答

- ①神と契約関係に入り、モーセの律法の下で生きることを誓う。

- ②しかし、余りにも理解が浅く、言葉が軽い。
- ③自分たちの将来に対する神の計画が十分に理解されていない。
- ④神の聖さの基準が理解されていない。
  - \*モーセの律法が要求する霊性を理解していないので、形式に終始する。
  - \*後の時代に現れるパリサイ主義の芽がすでにある。
  - \*イエスはメシアとしてモーセの律法の再解釈を行われた。
- ⑤自分たちの弱さと限界が理解されていない。
- ⑥いずれにしても、彼らが同意したので、契約の締結に向かう。

## II. 契約の血(4節～8節)

### 1. 祭壇と12の石の柱(4)

「それで、モーセは【主】のことばを、ことごとく書きしるした。そうしてモーセは、翌朝早く、山のふもとに祭壇を築き、またイスラエルの十二部族にしたがって十二の石の柱を立てた」

- (1) 山の麓の境界線のあたりに祭壇を築き、12の石の柱を立てた。
  - ①祭壇はいけにえを捧げるためのもの。
  - ②12の石の柱は、契約の一方の当事者であるイスラエルの民を象徴するもの。
- (2) 通常の宗主権契約では、偶像たちが証人に呼ばれる。
  - ①12の柱は、シナイ山麓で神との契約が締結されたことの記念でもある。

### 2. 祭壇に血を注ぐ(5～6)

「それから、彼はイスラエル人の若者たちを遣わしたので、彼らは全焼のいけにえをささげ、また、和解のいけにえとして雄牛を【主】にささげた。モーセはその血の半分を取って、鉢に入れ、残りの半分を祭壇に注ぎかけた」

- (1) イスラエル人の若者たちが、全焼のいけにえと和解のいけにえを捧げた。
  - ①祭司制度が啓示される前なので、若者たちは、必ずしもレビ族ではない。
- (2) モーセは血の半分を鉢に入れ、残りの半分を祭壇に注ぎかけた。
  - ①創15:9～21 アブラハム契約締結の時
    - \*3歳の雌牛、3歳の雌やぎ、3歳の雄羊、山鳩とそのひな
  - ②シナイ契約は血の契約である。

### 3. 契約条項の朗読（7）

「そして、契約の書を取り、民に読んで聞かせた。すると、彼らは言った。『【主】の仰せられたことはみな行い、聞き従います』」

(1) 契約の書とは、出 20 章～23 章の内容である。

①前日の解説よりも、短時間で終わったはずである。

(2) 民は前日同様に、ただちに同意した。

### 4. 民に血を注ぐ（8 節）

「そこで、モーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った。『見よ。これは、これらすべてのことばに関して、【主】があなたがたと結ばれる契約の血である』」

(1) 血の半分を民に注ぎかけた。

①民とは誰か。3つの可能性あり。

\*若者たち、70人の長老たち、12本の石の柱

(2) 神とイスラエルの民の契約の土台は、いけにえの血にある。

## III. 契約の食事（9 節～11 節）

### 1. 食事に参加した人々（9）

「それからモーセとアロン、ナダブとアビフ、それにイスラエルの長老七十人は上って行った」

(1) 24：1の命令通りに、モーセ、アロン、ナダブとアビフ、70人の長老が上る。

①契約書の朗読

②民の同意

③いけにえの血を祭壇に注ぐ

④いけにえの血を民に注ぐ

⑤以上のことを行ってから、山に上って行った。

### 2. シャカイナグローリー（10）

「そうして、彼らはイスラエルの神を仰ぎ見た。御足の下にはサファイヤを敷いたようなものがあり、透き通っていて青空のようであった。」

(1) モーセ以外の人々にも、特権が与えられた。

①モーセは【主】から啓示を受けたことを証言するためであろう。

(2) 彼らは、神の形を見たわけではない。

①彼らが見たのは、シャカイナグローリーである。

②サファイヤを敷いたようなもの、透き通っていて青空のよう

### 3. 契約の食事 (11)

「神はイスラエル人の指導者たちに手を下されなかつたので、彼らは神を見、しかも飲み食いをした」

(1) 神を見たなら死ぬというのが、イスラエル人の一般的な認識である。

(2) 彼らは神とともに契約の食事をした。

①和解のいけにえの肉を食べた (雄牛)。

## IV. シャカイナグローリー (12 節～18 節)

### 1. 山に上るモーセ (12～14)

「【主】はモーセに仰せられた。『山へ行き、わたしのところに上り、そこにおれ。彼らを教えるために、わたしが書きしるしたおしえと命令の石の板をあなたに授けよう』。そこで、モーセとその従者ヨシュアは立ち上がり、モーセは神の山に登った。彼は長老たちに言った。『私たちがあなたがたのところに帰って来るまで、ここにいなさい。ここに、アロンとフルとがあなたがたといっしょにいます。訴え事のある者は、だれでも彼らに告げるようにしなさい』」

(1) 山に上る目的は、神から石の板 (複数形) を受けるため。

①そこには、おしえと命令が書かれている。

②長持ちする。

③モーセは、これを用いて民を教える。

(2) 従者ヨシュアがともに上る。

①ヨシュアは、頂上までは行かないで、途中で待機している。

②シャカイナグローリーに入るのはモーセだけである。

③モーセ、ヨシュア、70人の長老、イスラエルの民の順番で神に向かっている。

(3) アロンとフルに後を任せる。

①このふたりは、アマレクとの戦いの時に、モーセの両手を支えた (出 17:12)。

②フルは、70人の長老のひとりであろう。

## 2. シャカイナグローリー (15~18)

「モーセが山に登ると、雲が山をおおった。【主】の栄光はシナイ山の上にとどまり、雲は六日間、山をおおっていた。七日目に主は雲の中からモーセを呼ばれた。【主】の栄光は、イスラエル人の目には、山の頂で燃え上がる火のように見えた。モーセは雲の中に入って行き、山に登った。そして、モーセは四十日四十夜、山にいた」

(1) 山をおおった雲は、【主】の栄光、シャカイナグローリーである。

①モーセは6日間、雲の外にいて待った。

②7日目に、モーセが招かれた。

③山麓にいた民の目には、シャカイナグローリーは燃え上がる火のように見えた。

(2) モーセは、シャカイナグローリーの中に40日間とどまった。

①断食をした。

「私が石の板、【主】があなたがたと結ばれた契約の板を受けるために、山に登ったとき、私は四十日四十夜、山にとどまり、パンも食べず、水も飲まなかった」(申9:9)

②ヨシュアは断食をしたか。マナを食べたであろう。

結論：このメッセージは、シナイ契約に隠されたメシアを発見するためのものである。

## 1. 契約の食事と新しい契約

(1) ヘブル的には、和解の食事、契約の食事というものがある。

①ガリラヤ湖畔でイエスが用意された食事は、和解の食事である。

②最後の晩餐は、新しい契約のための食事である。

(2) 最後の晩餐

①過越の食事である。

②その食事を、イエスは新しい契約のための食事とされた。

③聖餐式は、それを記念するための儀式である。

## 2. 契約の血と十字架

(1) 血が祭壇と、12の石の柱に注ぎかけられた。

①イスラエルの民には感動的なシーンである。

②シナイ契約の土台が、血のいけにえにあることを認識させられるシーンである。

(2) 24：8のモーセの言葉

「見よ。これは、これらすべてのことばに関して、【主】があなたがたと結ばれる契約の血である」

①マタ 26：28のイエスのことば

「これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです」

②ヘブ 9：13～14

「もし、やぎと雄牛の血、また雌牛の灰を汚れた人々に注ぎかけると、それが聖めの働きをして肉体をきよいものにするとすれば、まして、キリストが傷のないご自身を、とこしえの御霊によって神におささげになったその血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者とするのでしょうか」

(3) クリスマンとは、キリストの血による契約にサインをした人である。

①キリストは私の罪のために死なれた。

②墓に葬られた。

③3日目に甦られた。

3. シャカイナグローリーとメシアの受肉

(1) 出エジプト記におけるシャカイナグローリーの働き

①モーセを出エジプトのリーダーとして召した。

②イスラエルの民を荒野の旅へと導いた。

③イスラエルの民をエジプトの軍勢から守った。

④エジプトの軍勢を滅ぼした。

⑤マナとうずらを供給した。

⑥シナイ契約を結んだ。

⑦十戒が刻まれた石の板を与えた。

(2) シャカイナグローリーは、人間イエスの内に宿った。

①ヨハ 1：14

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた」